

平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 IMV株式会社

コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長

(氏名) 桂井 徹

TEL 06-6478-2565

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	857	19.7	△32	—	△36	—	△49	—
22年9月期第1四半期	716	△42.6	△33	—	△36	—	△59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第1四半期	△3.04	—
22年9月期第1四半期	△3.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第1四半期	6,932	2,172	31.3	132.92
22年9月期	7,078	2,249	31.8	137.62

(参考) 自己資本 23年9月期第1四半期 2,172百万円 22年9月期 2,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年9月期	—				
23年9月期(予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,340	21.0	210	41.7	200	36.9	100	△1.9	6.12
通期	4,600	8.9	325	△22.1	300	△26.1	155	△56.5	9.48

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

## 4. その他 (詳細は、【添付資料】P.6「その他」をご覧ください。)

## (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名 )、 除外 一社 (社名 )  
 (注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年9月期1Q	16,957,016株	22年9月期	16,957,016株
② 期末自己株式数	23年9月期1Q	611,953株	22年9月期	611,953株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年9月期1Q	16,345,063株	22年9月期1Q	16,345,864株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	4
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2.	その他の情報	6
	(1) 重要な子会社の異動の概要	6
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3.	四半期連結財務諸表	7
	(1) 四半期連結貸借対照表	7
	(2) 四半期連結損益計算書	9
	【第1四半期連結累計期間】	9
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4) 継続企業の前提に関する注記	12
	(5) セグメント情報	12
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4.	補足情報	13
	生産、受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、政府による景気対策の効果もあり個人消費や企業業績には改善が見られましたが、長期化する円高や欧米の景気減速懸念等により、先行きについては依然として不透明感が残り、設備投資についても一部に弱い動きが見られるようになりました。

このような環境の中、当社グループは、前連結会計年度までの緊縮政策から反転して成長のための諸施策を積極化させており、中国やASEAN地域への人員派遣や、成長分野であるリチウムイオン電池向け検査装置の開発強化等を実施いたしました。また、前連結会計年度に実施した事業提携を具現化させるため提携製品の拡販に注力すると共に、既存製品の分野においても無線型ポータブル振動計をリリースする等新たな展開を推進いたしました。業績面につきましては、主要取引先である自動車関連業界を中心に受注は回復基調にあり、全ての品目において前年同四半期を上回る受注高、売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は857百万円となり、前年同四半期と比べ141百万円の増収(対前年同四半期比19.7%増)となりました。利益面では、前連結会計年度に実施した固定費削減対策が収益性の改善には寄与しておりますが、縮小していた人材、設備、研究開発といった事業投資を再開した影響もあり、経常損失は36百万円となり前年同四半期と比べ0.2百万円の増益(前年同四半期は経常損失36百万円)となりました。また、会計基準の変更に伴い資産除去債務を計上した影響等により、四半期純損失は49百万円となり前年同四半期と比べ10百万円の増益(前年同四半期は四半期純損失59百万円)となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

## (振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、市場の拡大が期待される中国やマレーシアへ人員を派遣し、販売支援やマーケティングの強化を行いました。業績面では、主要取引先である自動車関連業界を中心に受注が回復基調にあり、振動だけではなく温湿度といった他の環境因子と同時に試験が可能なオールウェザーシミュレーションシステムの売上が増加いたしました。

以上の結果、この品目の売上高は469百万円となり前年同四半期と比べ43百万円の増収(対前年同四半期比10.2%増)となりました。

## (メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、前連結会計年度に業務提携契約を締結したGEエナジー製品の拡販に注力すると共に、新規事業分野である電気試験装置関連の開発を推進し、探傷試験装置や部分放電試験装置といったリチウムイオン電池向けの検査装置を開発いたしました。また、既存製品の分野においても、従来のポータブル振動計「カードバイブロNeo」を進化させ、業界初となる無線型ポータブル振動計「カードバイブロAir」をリリースいたしました。業績面では、市況の回復に伴い既存製品の売上が増加したことにより、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は211百万円となり前年同四半期と比べ54百万円の増収(対前年同四半期比34.5%増)となりました。

## (テスト&amp;ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、大阪テストラボ内に設備している鉄道車両用機器向けの試験装置が堅調に推移した他、東京テストラボや名古屋テストラボにおいても電気自動車関連の試験受託が増加したことにより、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は176百万円となり前年同四半期と比べ43百万円の増収(対前年同四半期比32.9%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ145百万円減少し、6,932百万円となりました。流動資産では、前連結会計年度末と比べ82百万円減少し、3,780百万円となりました。この主な要因は、仕掛品の増加127百万円、原材料の増加40百万円及び繰延税金資産の増加34百万円の増加があったものの、現金及び預金の減少309百万円及び製品の減少13百万円があったことによるものであります。固定資産では、前連結会計年度末と比べ63百万円減少し、3,152百万円となりました。この主な要因は旧名古屋営業所の売却による有形固定資産の減少67百万円であります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ68百万円減少し、4,760百万円となりました。流動負債では、前連結会計年度末と比べ124百万円減少し、3,403百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の増加182百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加66百万円があったものの、短期借入金の減少249百万円、未払費用の減少62百万円及び未払法人税等の減少24百万円があったことによるものであります。固定負債では、前連結会計年度末と比べ55百万円増加し、1,357百万円となりました。この主な要因は資産除去債務の増加29百万円及び繰延税金負債の増加27百万円によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ76百万円減少し、2,172百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の減少82百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.5ポイント減少し31.3%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末の137円62銭に対し、132円92銭となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年11月12日に公表いたしました平成22年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失340千円、経常損失376千円及び税金等調整前四半期純損失12,746千円が、それぞれ増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は29,843千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	867,509	1,177,435
受取手形及び売掛金	1,792,796	1,802,081
製品	2,923	16,857
仕掛品	646,644	519,075
原材料	249,260	209,118
繰延税金資産	133,739	99,330
その他	88,958	40,372
貸倒引当金	△1,200	△1,200
流動資産合計	3,780,632	3,863,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,048,875	1,054,590
土地	1,666,802	1,710,046
その他(純額)	182,246	200,642
有形固定資産合計	2,897,923	2,965,279
無形固定資産	44,465	50,542
投資その他の資産	209,950	199,812
固定資産合計	3,152,339	3,215,635
資産合計	6,932,971	7,078,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,024,633	841,843
短期借入金	1,304,700	1,554,300
1年内返済予定の長期借入金	735,044	668,384
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払金	100,216	114,893
未払費用	112,407	174,797
未払法人税等	483	25,090
製品保証引当金	46,000	47,000
その他	29,587	50,949
流動負債合計	3,403,072	3,527,258
固定負債		
長期借入金	1,028,308	1,028,617
繰延税金負債	36,350	8,352
長期未払金	248,193	250,645
資産除去債務	29,949	—
その他	14,500	14,500
固定負債合計	1,357,302	1,302,114
負債合計	4,760,374	4,829,373

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	1,256,079	1,338,450
自己株式	△109,327	△109,327
株主資本合計	2,169,132	2,251,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,464	△2,170
評価・換算差額等合計	3,464	△2,170
純資産合計	2,172,597	2,249,332
負債純資産合計	6,932,971	7,078,706



(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	716,532	857,864
売上原価	510,136	621,188
売上総利益	206,396	236,676
販売費及び一般管理費	239,628	269,254
営業損失(△)	△33,232	△32,578
営業外収益		
受取利息	563	180
受取配当金	112	170
受取賃貸料	308	308
有価証券評価益	—	993
セミナー収入	4,617	3,371
助成金収入	4,335	1,414
雑収入	2,754	3,093
営業外収益合計	12,692	9,531
営業外費用		
支払利息	11,406	8,824
有価証券評価損	216	—
賃貸収入原価	186	159
雑損失	4,285	4,348
営業外費用合計	16,095	13,332
経常損失(△)	△36,635	△36,378
特別利益		
固定資産売却益	—	222
保険解約返戻金	5,206	—
貸倒引当金戻入額	200	—
特別利益合計	5,406	222
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,370
投資有価証券評価損	—	5,173
固定資産売却損	—	1,090
固定資産除却損	15	104
早期割増退職金	25,966	—
前期損益修正損	—	2,631
特別損失合計	25,981	21,370
税金等調整前四半期純損失(△)	△57,210	△57,526
法人税、住民税及び事業税	504	933
法人税等調整額	2,059	△8,779
法人税等合計	2,564	△7,846
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△59,774	△49,680
四半期純損失(△)	△59,774	△49,680

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△57,210	△57,526
減価償却費	62,258	51,057
のれん償却額	—	908
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△200	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△1,000
受取利息及び受取配当金	△675	△350
受取賃貸料	△308	△308
支払利息	11,406	8,824
為替差損益(△は益)	△34	45
固定資産売却損益(△は益)	—	867
固定資産除却損	15	104
有価証券評価損益(△は益)	216	△993
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,173
前期損益修正損益(△は益)	—	2,631
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,370
売上債権の増減額(△は増加)	272,516	9,285
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,847	△153,777
仕入債務の増減額(△は減少)	51,965	179,147
保険戻金	△5,206	—
その他	△14,163	△110,836
小計	290,731	△54,377
利息及び配当金の受取額	515	274
利息の支払額	△9,376	△6,969
法人税等の支払額	2,083	△21,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,954	△82,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△408	△421
有形固定資産の取得による支出	△6,576	△1,967
有形固定資産の売却による収入	—	45,424
無形固定資産の取得による支出	△775	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,588	—
保険積立金の解約による収入	12,330	—
定期預金の預入による支出	△5,660	△105,576
その他	△1,159	△55,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,837	△117,706

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△80,000	△249,600
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△110,820	△133,649
自己株式の取得による支出	△113	—
配当金の支払額	△16,340	△32,663
その他	12	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207,261	△215,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70,890	△416,002
現金及び現金同等物の期首残高	645,178	1,100,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	716,068	684,091

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成しておりません。

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	70,403	32,030	840	103,273
II 連結売上高(千円)	—	—	—	716,532
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	4.5	0.1	14.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : 韓国、中国、台湾

(2) ヨーロッパ : ロシア

(3) その他の地域 : ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、セグメント情報は記載しておりません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		416,776	57.8	482,977	55.0	115.9
メジャリングシステム		158,415	22.0	212,874	24.2	134.4
テスト&ソリューションサービス		145,348	20.2	182,280	20.8	125.4
計		720,540	100.0	878,132	100.0	121.9

(受注高実績)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		585,923	61.3	862,440	64.3	147.2
メジャリングシステム		192,841	20.2	258,401	19.3	134.0
テスト&ソリューションサービス		177,037	18.5	220,070	16.4	124.3
計		955,802	100.0	1,340,912	100.0	140.3

(受注残実績)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		625,874	76.8	1,060,545	76.6	169.5
メジャリングシステム		123,438	15.1	256,695	18.5	208.0
テスト&ソリューションサービス		65,802	8.1	67,607	4.9	102.7
計		815,115	100.0	1,384,848	100.0	169.9

(販売実績)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		426,372	59.5	469,815	54.8	110.2
メジャリングシステム		157,023	21.9	211,131	24.6	134.5
テスト&ソリューションサービス		133,136	18.6	176,916	20.6	132.9
計		716,532	100.0	857,864	100.0	119.7